

学 校 の 運 営 計 画 (4月)			評 価 (3月)			
学 校 の 運 営 方 針		国際的な視野を持って地域で活躍する人材を育成するため、社会的自立の基盤となる「学力」「体力」「豊かな心」を培う。また、変化に対応し社会を支えその発展に寄与する力を育成するとともに、社会にはばたく力を身に付けさせるため、鍛えて、ほめて、生徒の可能性を伸ばす調和のとれた教育活動を実践する。				
昨 年 の 成 果 と 課 題		年 度 重 点 目 標		具 体 的 目 標		
<p>&lt;成果&gt; 校是である「フロンティアスピリット」の体現を目指し、昨年度も出席率99%、部活動加入率も80%を達成した。さらに、様々な体験的な教育活動や様々な学校行事の改革により、少しずつ色々なことに挑戦する生徒が増えてきた。</p> <p>&lt;課題&gt; 「挑戦する高校 北九州」のスローガンのもと、これまで以上に教師と生徒が丸一となって新たなことにチャレンジすることが本校の目標である。学習活動・生徒指導・進路指導のすべての教育活動において見直しを図り、新しい北九州高校の創造に力を尽くす。</p>		1 50周年の様々な学校行事を通し、生徒の自己指導能力を高める3つの機能を充実させ、自立と規範意識の涵養に努める。	体験的な教育活動により自尊感情や自己肯定感を高め、「自己存在感」を与え「共感の人間関係」を育成するとともに「自己決定の場」を与える新しい取組にも果敢に挑戦する。			
		2 ICTの活用を図ることでアクティブラーニングを実践し、主体的に学ぶ意欲の向上と基礎学力の更なる充実を図る。	職員全員がICTの活用を図りながらアクティブラーニングの実践者となり、生徒の学ぶ意欲を掻き立て能動的に学ぶ授業の創造を目指す。			
		3 地域の教育資源を生かすとともに、大学や企業との連携を強化し、進路実現のため、組織的・系統的指導体制を構築する。	インターンシップなど体験を重視したキャリア教育のノウハウを組織的に構築し、高い進路意識の醸成を図るよう、個人面談や進路学習の充実を図る。			
		4 地域に根差した新たな体育コースとしての役割を果たすために、教育活動の更なる特色化や部活動の活性化を推進する。	北九州地区唯一の体育コース設置校として、新しいカリキュラムを創出するとともに、特色ある教育活動を展開し、創立50周年に向けた部活動のさらなる活性化を目指す。			
		5 学校からの情報発信を進め、家庭や地域、社会と連携を強化するように努める。	創立50周年を迎えるにあたり、地域との関係強化を図るために様々な形で情報を発信し、地域の方から学校を応援していただける体制を作る。			
		6 人権・同和教育やインクルーシブ教育を推進し、人権が尊重される学校づくりに邁進する。	障害者差別解消法にもとづいた特別支援教育の理解を図るとともに、人権感覚を養う人権同和教育を推進する。また、他者への理解や命を大切にすることの機運を目指す。			
評価項目	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策		評 価 (3月)		
学習指導	生徒の主体的な学びを促す授業展開を工夫する。	アクティブラーニングやICTを取り入れた授業を行い、生徒が能動的に学ぶ場を創り出す。	A	A	A	次年度の主な課題 昨年度より、アクティブラーニングやICTを取り入れた授業を実践する教員が増えたが、次年度はさらに教科ごとに協議を深め、多くの授業で主体的対話型の深い学びとなるようにする。また、観点に基づいた評価を行う授業形態を確立するよう研究を進める。 生徒の学習習慣の定着のために、クラッシーなど支援教材を全職員で活用するよう確認し、活用ための工夫と改善を積極的に行う。それにより、家庭での学習時間の増大を図る。
	家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。	授業規律を確立し授業出席率99%以上を達成することで、落ち着いた授業環境をつくる。	A			
進路指導	補講や課外を通して学力の定着を図るとともに、主体的な学びの態度を育成する。	土曜講座、補講計画を長期的に立て、指導体制を確立する。	A	B	A	土曜講座や放課後学習等の補習授業は、計画通り実施できたが、クラッシーの有効的な活用には至らなかった。主体的な学びの一助となるようクラッシーの放課後等の活用や模試等の分析への利用を推進する。また、校外での進路ガイダンスの実施は、進路意識の向上に有効であり、次年度も機会を逃さず実施したい。さらに、インターンシップを外部の関係機関と連携して拡大して実施することに加え、社会人講話も企画したい。
	生徒の実態を把握し、進路実現に向けた主体的な姿勢を育てる。	進路ガイダンスを適宜行うことで、進路意識を向上させる。	A			
生活指導	基本的生活態度の確立	基本的生活の確立に向けての学年指導を徹底し、社会規範の涵養と自己指導力の育成に努める。	A	B	A	基本的生活習慣の確立のため、生徒の自己指導能力の育成を目指すとともに、単にルールで縛る指導にならないように注意する。また、スマートフォン持ち込み許可に向け、生徒や保護者とも議論を深める。本年度は、創立50周年に関する様々な行事が行われ、生徒の主体的な活動や挑戦しようとする意欲を引き出すことが出来た。次年度については、さらに生徒の積極性や達成感を得られる新しい取組に生徒会が挑戦できるよう指導する。
	自主・自立の精神の育成	遅刻・欠席・早退の防止のため、6回の登校指導や挨拶運動、遅刻カードによる指導を徹底する。	B			
研修	行内外の研修の充実を図り、教職員の指導力向上を図る。	研究授業については、アクティブラーニングやICTの活用をテーマに実施する。	B	B	B	数多くの教育課題の様々な研修の成果を、全職員に還元できるような仕組みを構築し、効果的で有効な職員研修の工夫を行う。
	教育振興	校内職員研修については、教職員のスキルやモラルの向上を目指す喫緊の課題で実施する。	A			
保健・安全	図書館、視聴覚教室の適切な利活用で、検索スキルや思考能力の向上を図る。また、芸術鑑賞や弁論大会を効果的に実施し、生徒の視野を広げる。	「朝の読書」の円滑、効果的实施に向けて、教職員の指導体制の強化を図る。	B	A	A	弁論大会を、例年通りの2学期の中旬に実施することで、生徒の指導の充実を図りたい。また、様々な教育活動を通じて図書館の活用を更に積極的に進め、貸出冊数を増やす取組を多面的に行う。
	学校美化活動、保健衛生活動、学校防災活動の推進	清掃指導については監督者が指導しやすい点検項目を提示し、学年と連携して美化点検を実施する。	B			
庶務	50周年記念式典に向けて、諸行事を円滑に実施できるようにし、各学年・分掌と共に取組む。また、PTA・同窓会・教育振興会との連携を深める。	地震や火災に対応できる防災訓練を実施し、緊急時対応を身につけさせる。	A	A	A	多くの行事について、周囲の連携や協力を得て行うことが出来た。ただし、PTA活動については全職員が積極的に参加するように、次年度の取組を工夫したい。
	教育の情報化推進	各種記録、資料などの電子データ化を進め、整理及び効率化を行う。	A			
第1学年	集団での規律ある態度を養い、責任感や役割を持たせることで、自己肯定感を与え、「豊かな心」「生きる力」「相手を思いやる心」を持った生徒を育成する。	PTA・同窓会・教育振興会との連携を図り、各活動への職員の積極的参加を促す。	B	A	A	次年度については、ホームページをCMS形式に変更することで、職員全体でホームページ作成に参画し、教育活動や広報活動に活用できるようにするとともに、クラッシーの活用を推進する。
	第2学年	情報機器を有効に活用し、本校の教育目標の達成に寄与するとともに、地域社会へ情報発信を行う。	学校ホームページを毎月更新し、学校の広報に努める。			
第2学年	「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」の調和のとれた教育活動を実践する。生徒に自己存在感を与え、確かな進路選択ができる生徒を育てる。	情報機器の管理を厳正に行い、情報漏えい等がないようにする。	A	A	A	2年次については、学校行事の中心となるリーダーの育成と進路目標を明確にできるようキャリア教育を充実させ、学習に対する意欲を高めることを課題としたい。
	第3学年	進路目標に対し、個々の受験力向上と意志・意欲を育成することで第一志望校合格を目指して取り組む。	すべての分掌等と連携して保護者一斉メールや、クラッシーの活用などの牽引役となる。			
第3学年	進路目標に対し、個々の受験力向上と意志・意欲を育成することで第一志望校合格を目指して取り組む。	基本的な生活習慣を確立させ、出席率99%、学年皆勤者150名以上を目指す。	A	A	A	クラッシー等ICT教材の活用を率先して行ってきたが、次年度は高い進路目標の設定し実現させるため、必要な情報を数多く自ら収集して活用する力を身に付けさせ、実際に活かしたい。
	進路目標に対し、個々の受験力向上と意志・意欲を育成することで第一志望校合格を目指して取り組む。	各学期、生活習慣・進路実現・学習に対する取組について意識をさせる講話を行う。	A			
第3学年	進路目標に対し、個々の受験力向上と意志・意欲を育成することで第一志望校合格を目指して取り組む。	ICT教材の活用等を進め、常に新しい刺激を与え続け、学習意欲を高揚させる。	A	A	A	大学進学希望者はAO入試や推薦入試を受験する生徒が多く、小論文指導や面接指導に力を入れ、北九州市立大学8名合格などの成果を上げたので、是非、次年度の取組に引き継いでいきたい。
	進路目標に対し、個々の受験力向上と意志・意欲を育成することで第一志望校合格を目指して取り組む。	進学旅行を高校生活最高の思い出の場として成功させ、来年度の進路獲得に向け強く挑ませる。	A			
第3学年	進路目標に対し、個々の受験力向上と意志・意欲を育成することで第一志望校合格を目指して取り組む。	生徒の進路意識の向上や進路決定に資するため、個人面談を重視し丁寧な指導を行う。	A	A	A	大学進学希望者はAO入試や推薦入試を受験する生徒が多く、小論文指導や面接指導に力を入れ、北九州市立大学8名合格などの成果を上げたので、是非、次年度の取組に引き継いでいきたい。
	進路目標に対し、個々の受験力向上と意志・意欲を育成することで第一志望校合格を目指して取り組む。	国公立大5名、私大(福大レベル)5名を目標とした教科指導を行う。	A			
第3学年	進路目標に対し、個々の受験力向上と意志・意欲を育成することで第一志望校合格を目指して取り組む。	就職希望者については、就労意識の向上や丁寧な面接指導、学力向上のための取組を行う。	A	A	A	大学進学希望者はAO入試や推薦入試を受験する生徒が多く、小論文指導や面接指導に力を入れ、北九州市立大学8名合格などの成果を上げたので、是非、次年度の取組に引き継いでいきたい。
	進路目標に対し、個々の受験力向上と意志・意欲を育成することで第一志望校合格を目指して取り組む。	就職希望者については、就労意識の向上や丁寧な面接指導、学力向上のための取組を行う。	A			

A